

# 2017 年度事業計画

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお



## ★ 1. 事業計画の基本方針

### ☆ NPOの自立性を高めます ●支援金事業、スキルアップ講座、活動支援講座、相談等

多様な資金調達の方法を探りながら地域やNPOへの寄附啓発の機運を高めます。また、「みのお市民活動支援金制度」の活用を通して、NPOの自立的事業実施の支援を行います。

### ☆ セクター間の連携を推進します ●まちの魅力づくりプラットフォーム、交流促進事業 等

これまでの実績を踏まえつつ、地域や近隣の大学、企業・店舗との連携を深め、北急延伸に伴う新たなまちの魅力づくりをめざします。

### ☆ NPOの担い手を増やします ●ハンドブック発行、ボランティア受け入れ 等

今後の市民活動の発展のため、これからの社会を担う若い世代の関心をNPOに引き寄せたり、セカンドステージを迎える定年退職者へ市民活動の紹介をしたりすることを通じて、NPOのファンや担い手になってくれる人材を増やしていきます。

## (1) 市民活動サポート事業（受託事業）

指定管理者の第4期に向けて、中間支援センターとしての役割をより具体的にアピールし、地域課題の解決に向かう市民活動の基盤強化と多くの人に共感を促すようなセンター事業を展開し、市民活動のすそ野を広げていく。

地域課題解決のための市民活動情報を構築し、ウェブ上で市民活動を啓発、促進する効果的な発信や具体的な改善策を提示していく。

また、中間支援の役割を担うセンターとしてコンサルタント機能を強化し、団体同士が各分野の強みを相互に学び合う機会を提供し、NPOの成長段階に合わせた支援施策の展開を図る。

## 1) 情報収集及び提供

### ① 情報の収集及び発信 ※合計予算:484,600円

#### ・ ホームページ管理運営

予算:50,000円

ホームページを管理・更新し、センターとして開催する講座や支援金の募集・交付に関する情報を発信する。また、ニュースレター等の発行物をウェブ上でも提供する。

日々の情報については、センター指定管理者が運営するSNS等と連動し活用する。

#### ・ 専門的情報収集

予算:100,000円

他の中間支援組織との情報交換、各種講座、交流会への参加、先進地域への視察などによる、中間支援に関わる専門的情報の収集をする。

#### ・ 人材バンク(サポーター登録)

予算:20,000円

行政と連携して市民活動・ボランティアに参加したい市民の登録を受付けて管理し、市民活動団体や活動につなげる機会を提供する。

- ② ニュースレター発行業務 配布部数:1000部(年2回程度) 予算:54,600円  
センター事業の紹介に限定せず、広く箕面の市民活動に関わる情報を発信し、啓発する。  
配布先:各公共施設等  
規格:A4版4頁カラー 配布部数:1,000部

- ③ ハンドブック発行(年1回) 予算:260,000円  
前回は2015年度に発行。箕面市社協ボランティアセンター等との協働で公開可能な団本基本情報等を提供する。10月発行予定。

## 2) 講座の開催、その他啓発 ※合計予算:385,000円

- ① NPOフェスタの開催(年1回) 予算:213,000円  
11月にセンター館内およびかやのさんぺい橋等周辺を会場としてNPOフェスタを開催する。また、関連企画として、フェスタ出展団体の活動紹介パネル展も開催する。
- ② NPOスキルアップ講座の開催(年6回) 予算:172,000円  
NPOを対象とした、組織マネジメント、広報や企画のスキル等の向上をめざす講座、および学生等、現在のNPO関係者以外も対象に、市民社会の成熟・発展に関する啓発を目的とした講座を開催する。また、市民の声や社会課題などから想定するテーマを並べて選択できるワンコイン講座を開催する。

## 3) 相談 ※合計予算:44,300円

- ① 専門家相談事業(年1回程度) 予算:44,300円  
団体の会計処理に関すること、法人の税務、労務など、専門的な相談を行う。  
個別相談の形式だけでなく、必要に応じて講座形式も組み合わせて実施する。
- ② 一般相談  
センタースタッフによる、市民活動などに関する日常的な相談を行う。  
相談内容を集積し、スタッフ間での共有やフォローアップに利用する。  
また、相談記録の傾向等を分析して、支援事業の企画に活かす。

## 4) 交流の促進 ※合計予算:20,400円

- ① 利用者協議会の開催(年1回程度) 予算:10,200円  
外部評価の一環としての利用者の意見聴取の実施も兼ねて実施する。  
利用料減免団体等に声をかけ、センターの利用や運営に関する意見交換、および、利用者同士の情報交換、交流も図る。
- ② 子育て支援ネットワークの開催(年1回程度) 予算:10,200円  
子育て関連団体のネットワークを図り、情報交換の場や団体のマッチングの場を提供して子育て環境の基盤整備や活動の充実を図る。

## 5)調査・研究事業

### ① ポータルサイト構築の研究

予算:50,000円

昨年度のホームページリニューアルの方針に関する協議に沿って、市民活動を促進する活動事例の収集やファンディングの方法等を調査研究する。

## 6)支援に関する事業 **※合計予算:185,000円**

### ① みのお市民活動支援金事業

予算:121,000円

募集、申請受付、審査実施、交付決定、結果報告の確認など一連の事務を行う。

申請や実施についての相談は一般相談事業や他の事業と連動し、昨年度よりスタートさせ希望する団体への専門家によるコンサルタントアドバイスなど、団体のスキルアップや組織強化などにつなげるフォローアップを行う。

### ② みのお市民活動支援金報告会の開催(年1回)

予算:64,000円

市民活動支援金交付団体の報告会を翌年度の4月に行い、報告する団体同士が評価し合う場であり、参加者が共感する事業に投票してもらい総合評価の仕掛けをするなどして、より多くの人の参加を促す報告会にする。

自治会活動応援コース以外の交付団体は基本的に報告会に参加してもらい、より多くの市民に支援金事業を知ってもらう機会を提供する。

## 7)場所及び施設の提供及びセンターの施設の利用

### ① センター管理業務 **※合計予算:20,191,460円**

センターの施設及び付属設備備品提供に関する業務。一般相談業務。住民票、印鑑証明書等の一部証明書発行業務。市民活動団体の場の提供と情報提供。

センター開設利用時間 9:00～22:00

休館日 臨時休館日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)

## (2) 自主事業の展開

第3期目3年目に入るみのお市民活動センター指定管理者として、今後の2年間は、新たなかやの中央のまちの魅力づくりを見据えた中間支援組織としての役割を、積極的に果たしていきたい。

また、団体の課題である資金循環に向けて、今まで培ってきたネットワークや情報収集と提供などを駆使して、さらなる基盤強化を図っていく。

3. 1.1 東日本大震災の復興支援に関しては、6年を経過した今後の復興支援のあり方を踏まえた支援活動の展開を行う。そして、熊本地震への支援については、関係団体と連携した熊本応援ネットワークの中で復興支援を継続する。

また、V-infoの情報発信と連動した人材育成も、大学等と連携してさらに力を入れて行く。

### 1) 市民活動に関する情報の収集・提供 **※合計予算:45,000円**

#### ① メールニュース(名称「かわら版」)及びサポーターニュースの配信(月2回)

会員や行政に向けて配信(約80件)。フォーラムみのおが関係する事業や団体会員の事業を紹介する。また、市民活動フォーラムみのおの人材バンクに登録されているサポーターに対して、「かわら版」にボランティアの募集を付加した「サポーターニュース」を配信する。

#### ② ウェブの情報発信

**予算:45,000円**

市民活動フォーラムみのおのホームページを管理・運営し、自主事業をはじめ、市民活動に関する情報提供を行う。

・V-info、SNS(フェイスブック)

### 2) 活動支援事業 **※合計予算:132,000円**

#### ① 市民活動応援ファンド

**予算:20,000円**

当法人の資金調達という大きな課題もあり、昨年度から「市民活動を応援する市民活動フォーラムみのお」への応援という形で寄附金を募っている。地道ではあっても資金調達を促す仕組みとして活用していきたい。

#### ② 活動・情報の交流会等の支援

**予算:30,000円**

子育て支援や環境保全等の活動・情報の交流会や、かやの中央まち育て交流会と連携する「まんどろ火祭り」を開催する。

#### ③ 活動支援講座の開催(事務力アップセミナー&検定)

**予算:82,000円**

事務力アップセミナー&検定事業を、主催団体や会場候補をより拡充する方向で北摂の中間支援団体と連携した事業を企画・開催する。

### 3) 市民活動に関する人材育成 **※合計予算:38,000円**

#### ① 出合いの広場事業

**予算:8,000円**

これから何かしたいと思う市民に向け、イベントでのブース出展等、機会をとらえて市民活動に興味を持つ場を提供する。

- ② サポーターへの対応 予算:5,000円  
 サポーターの記録を構築し、活動に対しての感謝状を出すなど、サポーターとしてのモチベーションを保つよう、情報提供をする。また、専門的スキルを持ったプロボノサポーターの発掘を進め、団体や事業等に積極的につなげていく。
- ③ 地域との連携(ボランティア受け入れ等) 予算:5,000円  
 学校のボランティア演習や職業体験、市職員向け人権セミナーでのNPOの啓発など、センターや関連団体が受け入れのフィールドになったり、活動の紹介をしたりすることで、地域との連携を深める。
- ④ 高校啓発事業 予算:10,000円  
 箕面東高校の「社会福祉入門」授業で、高校生にさまざまな分野のNPOを紹介、啓発する授業を行う。
- ⑤ 学生ソーシャル広報プロジェクト「promo -プロモ-」 予算:10,000円  
 次世代の社会貢献意識を高めることを目的に、NPOで活躍する人物へのインタビューやボランティア体験を記事にして発信する。ボランティア情報サイト「v-info」と連携活用する。

#### 4) 社会的環境の整備 ※合計予算:40,000円

- ① 団体との連携 予算:20,000円
- ・ボランティアフェスタ「いきいきまつり」(ボランティアセンター運営委員会兼務)  
 箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携して実行委員会に参画する。
  - ・かやの“お宝”人権まつり  
 らいとぴあ21と連携して実行委員会に参画する。
  - ・みのお市民人権フォーラム  
 みのお市民人権フォーラム実行委員会に参画する。
- ② ネットワーク構築 予算:10,000円
- ・箕面市内の非営利中間支援組織のネットワーク「もっとネット会議」の開催  
 市内5団体との連携で、年4回程度の事務局レベルの情報を中心とした交流を行なう。  
 【構成団体】(社福)箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター  
 NPO法人みのお山麓保全委員会  
 (公財)箕面市国際交流協会  
 (公財)箕面市メイプル文化財団  
 タッキー816みのおエフエム ※主幹:(特活)市民活動フォーラムみのお
  - ・企業・大学との連携  
 大阪大学外国語学部や立命館サービスラーニングセンター、企業とのコラボレーションを探る中で、大学や企業との連携を深め、相互協力や協働事業などを図っていく。

**③ まちの魅力づくりのプラットフォーム** **予算:10,000 円**

中間支援組織として、昨年後半から「かやの中央まちづくり勉強会」を5回開催する中で、4年後の市民活動のあり方や、かやの中央が箕面のまちの玄関として多くの人を迎える機会として市民活動の啓発をどのように展開するのか、次の4年を迎えるまでに関係団体や市民活動団体と連携して意見交流・場報の場を設けるなどする。

**5) 他団体や市民との連携事業** **※合計予算:107,000 円**

**① 来館啓発及び表現活動の場の提供** **予算:56,000 円**

・ほっとコンサートの開催(年3回程度)

センターの周知とにぎわいづくり、市民グループの発表と交流の場の提供、サポーターの活躍の場を目的に、年3回程度開催する。

・箕面在住アーティスト展

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、随時開催する。

・アートの広場(随時)

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、廊下の壁面のスペースを利用した作品の展示を、随時開催する。

**② 中間支援組織の研修** **予算:51,000 円**

・KNNへの参加

関西NPO支援センターネットワーク(KNN)に参加し、他市支援センタースタッフ等と交流し、連携、情報交換を行なう。

・スタッフ研修

NPO支援センタースタッフのスキルアップを向上させるため、研修や勉強会に参加する。

・近隣の中間支援組織と連携した交流会や研修

北摂地区中間支援組織のスタッフを対象に情報交換や勉強会など、それぞれの拠点を輪番制で訪問しながら交流会を開催する。

**6) 東日本や熊本等の被災地復興支援事業** **※合計予算:216,000 円**

**① 3.11を忘れない 復興支援イベント** **予算:186,000 円**

3年前から、復興支援に直接携わる箕面ユネスコ協会の協力で、現地の状況や報告会、被災地の物産による復興横丁を開催。今年度は、若い世代に被災地支援と防災意識を啓発する目的でユースフォーラムの開催を計画している。

**② 熊本おうえんネットワーク** **予算:30,000 円**

昨年4月の震災直後から、箕面市の関連団体と連携して、被災地支援のための物産販売の協力。被災地のNPOと連携して箕面市内のイベント等に出展参加を通して、熊本の復興の状況や報告等を行う。